

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条第1項に基づく

# 教育委員会の点検・評価

(平成27年度対象)

平成28年7月

富津市教育委員会

# 目 次

## I. はじめに

- 1. 本市の点検・評価の概要 ..... 1
- 2. 教育委員の活動状況 ..... 2

## II. 点検・評価

- 1. 学校教育の充実 ..... 4
  - (1) 教育総務課の取り組み ..... 5
  - (2) 学校教育課の取り組み ..... 8
  - (3) 教育センターの取り組み ..... 10
  - 外部評価者による評価 ..... 12
- 2. 生涯学習の充実、青少年健全育成の推進、文化・芸術活動の推進、  
文化財の保護と活用 ..... 13
  - (4) 生涯学習課の取り組み ..... 14
  - (5) 中央公民館の取り組み ..... 16
  - (6) 富津公民館（埋立記念館を含む）の取り組み ..... 18
  - (7) 市民会館（峰上公民館を含む）の取り組み ..... 20
  - 外部評価者による評価 ..... 22
- 3. スポーツ・レクリエーションの振興 ..... 23
  - (8) 生涯学習課（スポーツ振興係）の取り組み ..... 24
  - 外部評価者による評価 ..... 26

# I. はじめに

## 1. 本市の点検・評価の概要

### (1) 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条で、教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検・評価を行い、その報告書を議会に提出するとともに公表するよう求められています。また、点検・評価にあたっては、教育に関して学識経験を有する者の知見の活用を図ることとされています。

富津市教育委員会では、これに基づき、平成20年度の事業から毎年、点検・評価を実施してきました。

今般、平成27年度の点検・評価が終了しましたので報告します。市民の皆様には、教育委員会が行っている日常の業務や課題を知っていただき、一層のご支援を賜りたいと考えています。

### (2) 報告書の構成

今回も平成26年度版と同様に、「富津市第3次基本計画」及び「生涯学習推進計画」の施策指標とそれに対する到達点を3分野に分けて明示しながら、取り組みの実際と自己評価、及び学識経験者2名の評価と意見を記載しました。

また、学識経験者の評価と意見は、分野ごとにまとめていただきました。

評価A：事業の効果が現れている。

B：事業の効果が概ね現れている（一部に問題がある）。

C：事業の効果があまり現れていない（多くの問題がある）。

富津市教育委員

平成28年3月31日現在

職 名	氏 名
委 員 長	宮 田 賢
委員長職務代理者	池 田 亨
委 員	榎 本 純 子
委 員	小 坂 洋 子
教 育 長	渡 辺 隆 二

## 2. 教育委員の活動状況

### (1) 定例会議等……毎月開催、必要に応じて臨時に開催

- 4月30日 ・富津市公民館運営審議会委員の委嘱について
  - ・義務教育諸学校（市立小学校及び中学校）の教科用図書の取扱い方針を定めることについて
  - ・教科用図書君津採択地区協議会委員の選出について 等
- 5月28日 ・富津市社会教育委員の委嘱について
  - ・富津市体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例等の一部を改正する条例の制定について 等
- 6月25日 ・富津市学校給食運営委員会委員の委嘱及び任命について 等
- 6月25日 ・富津市教育委員会委員長の選挙について 等
- 7月30日 ・平成28年度使用教科用図書の採択について
  - ・教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について
  - ・富津市私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則の一部を改正する規則の制定について 等
- 8月27日 ・富津市一般会計予算教育費歳入歳出9月補正予算について 等
- 9月24日 ・報告事項 等
- 10月29日 ・報告事項 等
- 11月26日 ・富津市一般会計予算教育費歳入歳出12月補正予算について 等
- 12月18日 ・富津市教育委員会被表彰者の決定について 等
- 1月28日 ・報告事項 等
- 2月18日 ・富津市学校医、歯科医、薬剤師の委嘱について
  - ・富津市一般会計予算教育費歳入歳出3月補正予算について
  - ・平成28年度富津市一般会計予算教育費歳入歳出予算について
  - ・退職教職員に対する富津市教育委員会感謝状の贈呈について 等
- 2月18日 ・富津市教育委員会委員の辞職について
- 3月28日 ・富津市退職教職員感謝状贈呈式
- 3月28日 ・富津市学校医の委嘱について
  - ・富津市文化財審議会委員の委嘱について
  - ・富津市教育委員会行政組織規則の一部を改正する規則の制定について
  - ・行政不服審査法の施行に伴う関係規則の整備に関する規則の制定について

### (2) 教育委員協議会……事務局とのフリートーキング等

- 5月28日 ・教育委員会の点検・評価について
- 11月26日 ・平成28年度富津市教育施策について
  - ・平成28年度教育費当初予算要求方針及び概要等について
  - ・事業仕分け結果の対応方針について 等
- 2月18日 ・旧関豊小学校跡地利用について

(3) 総合教育会議……市長、教育委員会により構成され、大綱の策定、教育条件の整備等重点的に講ずべき施策等協議・調整を行う。

- 6月25日 ・総合教育会議の運営について
- ・富津市教育施策に係る大綱について

#### 富津市教育施策に係る大綱

平成27年6月25日

富津市長 佐久間 清 治

富津市及び富津市教育委員会は、「富津市第3次基本計画 第5部 豊かな心を育む教育と文化の香るまち」の趣旨に沿い、引き続きその実現に努める。

#### (4) 教育委員の研修等

- 5月18日 君津地方教育委員会連絡協議会総会
- 5月27日 千葉県市町村教育委員会連絡協議会定期総会並びに特別講演会  
講 演 「教育委員会制度の改正とこれからの教育委員会について」
- 11月4日 千葉県市町村教育委員会連絡協議会第1回教育長・教育委員研修会
  - ① 全体会 (パネルディスカッション)  
テーマ 「教育委員会制度改正に関わる現状と課題について」
  - ② 分科会 ・「学校規模の適正化に向けた取り組みについて」  
・「歴史、文化等の地域資源を活用した教育の推進について」  
・「教育委員会機能の充実にに向けた取り組みについて」
- 1月27日 千葉県市町村教育委員会連絡協議会第2回教育長・教育委員研修会  
講 演 「いじめ問題等に対する学校の危機管理について」

#### (5) 学校訪問

- 6月29日 富津中学校
- 10月15日 青堀小学校
- 28日 佐貫小学校
- 経営概要説明・授業参観 等

#### (6) その他

入学式・卒業式、小・中学校音楽のつどい、成人式、並びに関係団体・機関の会議等に多数参加した。

## Ⅱ. 点検・評価

### 1. 学校教育の充実

『富津市第3次基本計画』の施策目標と到達点

指 標 名	平成21年度	平成27年度 (目標値)	平成27年度 (到達点)
きめ細かな指導のために配置された指導員数	特別支援教育指導員 3人 外国人指導助手 (ALT) 3人 自立支援指導員 4人	8人 4人 9人	5人 3人 4人 英語指導員 3人 指導補助教員 5人
小中学校校舎等の耐震化率	60.7%	100%	100%



③ 今後の取り組みの方向性（改善策等）

学校施設については、第3次基本計画にあるように安全・安心な教育環境づくりに努める。そのため、学校再配置構想の検討状況との整合を図りながら、天井材や外装材等の非構造部材の耐震化及び老朽化施設解消に向けての学校施設整備基本計画の策定を図る。

・学校給食管理運営事業（27年度から教育総務課事業）

富津市学校給食施設整備の指針に基づき、第1期計画により3調理場へ統合された後の状況を精査し、本市においてより望ましい学校給食調理場のあり方を実現するため、第2期計画の検討を行う。

また、調理場の統合に伴い更に安定的な給食の実施を確保する必要があるため、調理等業務委託を民間会社と3年間の長期継続契約を締結すること及び、施設設備も老朽化や耐用年数の経過した機材が多いことから、第2期計画を視野に入れて計画的な更新に努める。

・給食施設整備事業（27年度から教育総務課事業）

給食施設設備の老朽化更新のため、天羽共同調理場合併浄化槽設置工事を実施する。

・給食材料費（27年度から教育総務課事業）

安全・安心で安定した給食の実施に向け、調理従事者研修の充実、食材の安全確保に努め、更に食育の推進の観点から、生産者が特定され、かつ生産に係る体験をすることができる「ちばエコ基準」にて生産した富津市産米を10月より提供する。

また、学校給食に使用する食材に含まれる食品添加物の公表を市民ボランティアとの連携により実施する。

給食費未納者に対しては、今後も例規に基づいた対応を実施する。



◎教育部全体での取り組み（教育かわら版の発行）

教育委員会が日頃行っている業務等について、市民に理解して頂くために教育かわら版を20年度から発行しており、今年度で通刊34号を迎えた。27年度は計4号を区長回覧にて全戸配布し、併せて富津市ホームページに掲載した。7月発行の31号は、学習を支援するひとたち、スポーツ競技団体及び移動図書館等のおススメ本の紹介等、10月発行の32号は、市、警察、セブンイレブンによる安全・安心の確保、食と子育て～その7、各種スポーツイベント案内、新教育委員長の紹介等、12月発行の33号は、市民の学びを支える人々シリーズ5、高宕山のニホンザル紹介、食と子育て～その8、「ふつつ学びの門」紹介等、2月発行の34号は、内裏塚古墳の紹介、就学援助制度・育英資金制度の紹介等、多種多様な内容の紹介に努めている。

財政収支改善策による経常経費削減のための検討は必要だが、今後も引き続き内容の充実に努め、発行は続けていきたい。



31号 (H27年7月発行)



32号 (H27年10月発行)



33号 (H27年12月発行)



34号 (H28年2月発行)

<p>(2) 学校教育課の取り組み ア 学校教育課</p>	<p>教育委員会の自己評価 B</p>
<p>① 主な事業と決算見込額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私立幼稚園就園奨励事業 (35, 187, 200 円)</li> <li>・要保護及び準要保護児童・生徒就学援助事業 (13, 383, 196 円)</li> <li>・特別支援教育児童・生徒就学援助事業 (1, 613, 929 円)</li> <li>・特別支援教育指導員 (8, 088, 914 円) 等</li> </ul>	
<p>② 27年度の取り組みの概要と効果 (成果・課題等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私立幼稚園就園奨励事業 市内に住所を有する補助金該当保護者の子312人(前年度比-40人)が通う、市内外の私立幼稚園10園の設置者に補助金を交付し、幼児教育の振興を図った。</li> <li>・要保護及び準要保護児童・生徒就学援助事業 準要保護児童・生徒として185人(前年度比+11)を認定し、学用品費・給食費・児童への通学費補助・医療費等の援助を行った。また、要保護児童・生徒については、修学旅行費1人の援助を行い、併せて保護者の経済的負担の軽減を図った。 さらに、広報ふつつや教育かわら版等で広く周知を図るとともに、申請書についても市HPからダウンロードできるようにした。</li> <li>・特別支援教育児童・生徒就学援助事業 特別支援学級在籍の児童・生徒40人(前年度比+5人)を認定し学用品費・給食費等の援助を行った。</li> <li>・特別支援教育指導員 通常学級で過ごす特別支援を必要とする児童・生徒の支援のため、5人(前年度同数)の指導員を非常勤で雇用し延べ6校に派遣した。配置の効果は非常に大きく、学校からも増員に向けた切実な要望が寄せられている。</li> <li>・その他 児童・生徒の健全な育成と各種事故防止を図るため、学校と警察並びに教育委員会が学校警察連絡委員会を組織している。27年度も連携を密にし、互いに協力して指導の万全を期した。また、27年度より通学路の安全確保に向けた取り組みを関係機関(富津警察、国・県道路関係者及び市役所関係部署、PTA代表等)が連携して推進し、通学時における児童生徒の交通事故防止を図るため、「富津市通学路安全対策協議会」を立ち上げた。各学校から報告のあった通学路の危険箇所を、関係機関で合同点検を行い、危険箇所の改善等が行われた。</li> </ul>	
<p>③ 今後の取り組みの方向性 (改善策等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・私立幼稚園就園奨励、要保護及び準要保護児童・生徒就学援助、特別支援教育児童・生徒就学援助事業 三事業とも市の財政負担が高まる傾向にあり、幼児教育・学校教育の振興のため、予算の確保が求められているところであるが、平成28年度より私立幼稚園就園奨励補助金の補助額が国の限度額と同額となった(前年度までは、8割)。また、準要保護児童・生徒就学援</li> </ul>	

助についても、これまで国の基準額の半額であった学用品費、通学用品費、校外活動費、新入学用品費等が10割になった。今後も予算の確保に努めていきたい。

- ・特別支援教育指導員

今後も各学校のニーズに応じた増員に向け、予算の確保に努め、さらなる充実を図っていきたい。

- ・小・中学校再配置構想の推進

閉校した旧環南小、関豊小の跡地については、土地所有権等の整理を進めながら、庁内及び地元とともに有効活用に向けて努力する。また、富津市小・中学校再配置構想の趣旨の周知・理解を進め、今後も適正な学校規模の維持に向け、天羽中学校と天羽東中学校をはじめとする統合の検討について庁内関係部局と協力しながら進めていきたい。

イ 教育センター	教育委員会の自己評価	A
<p>① 主な事業と決算見込額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教職員研修推進事業 (145,011 円)</li> <li>・学力向上推進事業 (8,917,976 円)</li> <li>・外国語指導助手配置事業 (11,340,000 円) 等</li> </ul>		
<p>② 27年度の取り組みの概要と効果(成果・課題等)</p> <p>教職員研修推進事業では、夏季教職員研修会を10講座、PC研修会を3講座開催。今年度も、自身の課題に基づく希望参加を継続した。教職員一人平均1回以上参加の意識も高まり、延べ320人以上の自主的な参加があった。また、市教職員全体研修会では、学級経営と学習指導の関連に視点を当て、東京教育研究所主任研究員の橋本由愛子氏より「学級経営と学習指導を充実させるために」と題して講演をいただいた。多くの教員にとって今後の指導を見直す機会になったようである。</p> <p>階層別研修としては、新規採用教職員研修、指導補助教員等研修、2年目教員研修、生徒指導担当者研修、特別支援教育コーディネーター研修、管理運営研修(教頭・教務主任対象)等を実施した。また、若年層の育成に尽力してもらうため、今年度から中堅層研修を新設し、千葉県総合教育センターの職員を講師に課題解決型の研修を行った。指導補助教員等の研修には、今年度も多くの講師が参加し、指導法を身につけると共に、正規採用を目指す上でのスキルアップにも心がけた。2年目研修では、授業づくり研修として、指導案検討から指導主事が参加し、授業実践を通して授業力のアップを図った。各研修における、専門的な立場からの示唆や実践例の紹介等が、教職員の力量向上に役立っている。また、指導主事・教科指導員・食育指導員等が学校からの要請を受け、延べ96回(昨年度65回)、指導案作成への助言や校内授業研修会等の講師としての役割を担った。</p> <p>学力向上推進事業では、少人数指導の推進のため、指導補助教員5人を、小学校3校、中学校3校に配置し、授業中の個別指導や適応指導教室での学習支援を行った。個に応じた指導への各学校からのニーズは高く、今後の増員を目指したい。また、学力向上推進委員会を組織し、本市の学力の課題を分析した。その分析結果から「書いて、考える」学習に重点を置いて児童生徒の取り組みの意識の変化を見ることとした。また、教育センター広報誌に「書く」指導のポイントを連載した。</p> <p>外国語指導助手配置事業では、今年度も3人のALTを雇用し、全小・中学校において活用できるように配置した。派遣の雇用形態も定着し、各校での打合せや担任との連携が充実した。更に小学校の外国語活動には3人の英語指導員の雇用を継続し、ALTとともに学級担任の指導を補助した。</p> <p>生徒指導・教育相談体制として、自立支援指導員4人を小・中7校に、適応指導相談員2人を適応指導教室に配置した。県から派遣されたスクールカウンセラーは、中学校5校小学校1校に配置し、延べ1283件(昨年度1193件・90件の増)の相談活動を行った。長期欠席者が増化傾向にあるので、原因に応じた対応に更に力を入れて取り組んでいきたい。心療内科の専門医による相談は、6件(昨年度9件)、教育センターへの電話</p>		

及び来所による相談は17件（昨年度 8件）であった。

社会科副読本については、各小学校から選出された編集委員が、編集作業に熱心に取り組み、平成28年度からの活用に向け、新副読本を発刊することができた。

情報教育推進のため、文書作成や表計算、新規導入したタブレットパソコンの活用研修も行った。また、情報モラルとして、SNS関連の研修も行い、児童生徒が活用する上で問題点についての理解を図った。

### ③ 今後の取り組みの方向性（改善策等）

教職員研修推進については、今後とも教育現場のニーズや今日的な課題に応じた研修の実施に努める。特に若年層だけでなく中堅層の研修も実施し、若手職員育成において各学校で力を発揮させたい。

学力向上推進事業では、平成27年4月に小学生版に引き続き「家庭学習の手引き（中学生版）」を発行する。また、各種学力調査の結果を丁寧に分析し、学力向上推進委員会において、必要な対策を検討していく。今後、学習に向かう意欲の向上に焦点を当て、家庭（地域）・学校・教育委員会が連携して、児童・生徒の学力向上が図れるよう配慮する。

社会科副読本の編集では、「富津を愛する子どもの育成」を念頭に、編集事業の最終年として子どもたちの使いやすい副読本となるように心がけて取り組む。

情報教育の推進としては、小学校の教育用コンピュータの更新に向け、必要な情報を収集し、より活用しやすい機器の導入に向けて準備を開始する。

学習面ばかりでなく、教育センター職員が、今後もきめ細かな学校訪問に心がけ、子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう、特別支援教育、生徒指導、教育相談といった側面からも引き続き支援をしていく。



FUTTSU  
**家庭学習の手引き**

小学生版



富津市教育委員会



FUTTSU  
**家庭学習の手引き**

中学生版



富津市教育委員会

外部評価者（Ⅰ）の評価 B

意見

点検評価とは趣が異なりますが、財政危機の表面化に端を発する一連の動向の結果、財調の積み増しが図れるなど、この間の努力には計り知れぬものがあると推察します。一方、表面化しない「ねじれ」が沈殿していないか危惧しています。

これが職員の士気にも影響を及ぼすと、結果として「市民福祉の向上」の停滞につながります。この意味でトップに位置する者はもとより、管理監督者による職員への配慮が不可欠です。職場の労務管理の重要性を再認識し行動に移すことを切に願います。

次に、最大の課題である人口減少・少子化への対応として、ハード面の整備、ソフト面の充実ともに教育部門は多くの役割を担います。総合教育会議の設置により従来以上に首長と教育委員会との意思疎通が図れることとなったのを契機に、成果の向上を期待します。

・学校施設の整備については、基本計画の策定に先立ち、武道場の非構造部材の耐震化を実施したことは大きく評価できます。学校施設は災害時の避難場所としての機能も果たす複合的な機能を有し、熊本地震の例を引くまでもなく、早期の整備を多くの市民が期待しているものと思います。

・市民が行政を理解し、支え、協力していくためには、情報の発信が不可欠です。教育かわら版の発行はそのための有効な手段であり、費用対効果は大きいといえます。親しみやすい紙面づくりを心掛け、今後も継続的な発行を願います。

・私立幼稚園就園奨励等の三事業補助額が国基準額に引き上げられたが、第三次市基本計画は終了したとはいえ、「安心して子育てできるまち」の施策が充実したことは、子育て世代だけでなく市のイメージアップにつながると考えます。

外部評価者（Ⅱ）の評価 B

・財政逼迫の折り、十分な予算と職員の確保が難しい状況の中で、苦慮しながら事業を遂行する困難さが推察できる。

・首長と教育委員会という対等な執行機関同士の協議及び調整の場という位置づけの中で、相互の信頼と連携の関係を大切にしながら教育行政を推進してほしい。

・「児童生徒の貧困格差」が問題となっている現在、幼児・学校教育振興のため、私立幼稚園就園奨励補助金、準要保護児童・生徒就学援助費が、国の基準額と同額になったことはおおいに評価したい。

・児童生徒は概ね落ち着いた学校生活を送っているが、いじめ、不登校、児童虐待等々学校が抱える課題は多岐にわたっている。財政問題は理解しつつも、「心豊かでたくましい児童生徒の育成」を目指し、更なるきめ細かな指導のために特別支援教育指導員、指導補助教員等の増員が必要と思われる。第3次基本計画の早急な目標達成を期待する。

## 2. 生涯学習の充実、青少年健全育成の推進、文化・芸術活動の推進、文化財の保護と活用

『富津市第3次基本計画』・『富津市生涯学習推進計画』の施策目標と到達点

指 標 名	平成21年度	平成27年度 (目標値)	平成27年度 (到達点)
市民等アンケート「学習やスポーツなどの活動をしている市民の割合」	42.5%	50.0%	—
市民等アンケート「生涯学習活動の推進」の満足度	30.6%	35.0%	—
人材バンク「まちの先生」の利用件数	4件	20件	45件
図書利用冊数	34,395冊	46,000冊	25,260冊
市民等アンケート「青少年の健全育成」の満足度	24.7%	30.0%	—
家庭教育学級参加者の数	782人	890人	609人
市民等アンケート「芸術・文化の振興」の満足度	28.1%	30.0%	—
指定・登録文化財の件数	79件	84件	85件
史跡見学会・講演会参加者数	597人	600人	754人
市民文化祭参観者数	14,692人	21,000人	17,469人
公民館・市民会館利用者数	130,540人	146,000人	100,046人
埋立記念館入館者数	3,806人	5,000人	1,445人

(3) 生涯学習課の取り組み	教育委員会の自己評価 B
<p>① 主な事業と決算見込額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会教育委員関係費 (401,400 円)</li> <li>・ 生涯学習推進事業 (77,760 円)</li> <li>・ 生涯学習バス設置事業 (5,276,066 円)</li> <li>・ 図書館費 (含：移動図書館事業) (4,220,173 円)</li> <li>・ 子ども会活動事業 (294,000 円)</li> <li>・ 青少年相談員活動事業 (875,282 円)</li> <li>・ 家庭教育支援事業 (147,481 円)</li> <li>・ 市内遺跡発掘調査事業 (2,119,779 円)</li> <li>・ 民間開発発掘調査事業 (2,850,866 円)</li> <li>・ 史跡案内板・説明板設置事業 (72,900 円)</li> <li>・ 高宕山のサル被害防止事業 (2,460,000 円) 等</li> </ul>	
<p>② 27年度の取り組みの概要と効果 (成果・課題等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生涯学習推進事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習推進大会が昨年度を最後に休止となり、事業としては生涯学習情報提供誌の発行のみとなった。まちの先生や出前講座などの学習支援の活用を引き続き促しながら、生涯学習推進体制の見直しを図りたい。</li> </ul> </li> <li>・ 生涯学習バス設置事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>富津市事業仕分けを受け、現行2台の生涯学習バスについて、平成28年度に向け運行形態や利用方法の検討をした。また、1台分の車両更新予算を要求した。</li> </ul> </li> <li>・ 図書館費・移動図書館事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>簡易型図書貸出システムを導入したことにより貸出・返却処理をスムーズにし、図書貸出業務を実施した。年間利用冊数はわずかに減少 (前年度比-341冊) ではあったが、図書のリクエスト (721冊) や予約 (390冊) の受付件数は増加傾向にある。今後とも蔵書を増やしながら、工夫を重ねたい。</li> </ul> </li> <li>・ 子ども会活動事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>各種の子ども会行事をはじめ、ジュニアリーダー研修会・育成者講習会が実施され、子ども会活動及び組織の充実が図られた。</li> </ul> </li> <li>・ 青少年相談員活動事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>青少年のつどい大会、文化祭の協力 (なんでもヤリーナ20分・模擬店)、新年子ども大会、キャンプ大会等が実施され、青少年健全育成活動が推進された。</li> </ul> </li> <li>・ 青少年問題協議会事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>青少年の健全育成に資するため、行政・学校及び各種市民団体代表により警察や学校で把握している事例を中心に協議及び情報交換を行った。</li> </ul> </li> <li>・ 家庭教育支援事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>5小学校・1中学校において家庭教育学級を開催し、参加者は延べ609人であった。</li> </ul> </li> </ul>	



・市内遺跡発掘調査事業

飛附遺跡・植ノ台遺跡 8・飯野陣屋二の丸跡・神明原遺跡 4 の計 4 か所の発掘調査を実施するとともに、遺物が出土した飛附遺跡と飯野陣屋二の丸跡の基礎整理作業を行った。

・民間開発発掘調査事業

医療法人社団三友会 三枝病院の施設建設に先立ち、青木亀塚古墳・亀塚遺跡の確認調査を実施した。

また、市道山王下飯野線の道路改良事業に先立ち、飛附遺跡・下谷遺跡の確認調査を実施した。遺構の検出によって必要となった本調査は、市建設経済部と民間発掘調査会社との契約によって実施された。

・その他文化財関係事業

文化財周知板設置事業では四面石塔（松翁院）への老朽化に伴う付け替えとともに、平成 25 年度に市指定文化財となった木造阿彌陀如来坐像（円鏡寺）への新設を行った。

高宕山サル被害防止事業では、老朽化した電気柵の改修、発信器の装着、事業対象である高宕山周辺、特に指定地域及び要現状変更地域内に生息するニホンザル個体群を対象に行動域の調査、指定地域の生息環境調査を行った。

内裏塚古墳群など市内の史跡見学会や出前講座・講演会などへの参加者は 754 人（前年度比-3 人）であった。

③ 今後の取り組みの方向性（改善策等）

生涯学習推進事業については、情報提供誌の発行や「まちの先生」事業を中心として継続し推進する。

図書の管理については今後、本格的な図書貸出システムを導入し、利用者が家庭からもリクエストや蔵書検索をできるようなサービスを目指す。図書室の環境整備に努め、快適な読書のための空間づくりに取り組む。

青少年問題協議会については、年 1 回の開催であるが、関係団体のより綿密な連携・情報交換を図り、青少年健全育成を推進する。

家庭教育支援事業は、現在 6 校の実施だが、より多くの学校が参加できるよう、他校との共同開催などを働きかける。

各種開発から埋蔵文化財を守り、場合によっては発掘調査による記録保存の策を講じるなど保存に努める。

市内の文化財周知板の整備を進め、老朽化に伴う更新のほか、指定物件以外でも重要性の高いものについては、民間からの協力も得て説明板の設置に努める。

史跡等公有地化整備事業として、引き続き内裏塚古墳単体の公有地化を進めるとともに、内裏塚古墳群全体としての整備方針を検討し、計画を策定する。

その他文化財関係事業として、市の歴史や文化財に関して市のホームページの充実を図るなど広報活動に努める。また、高宕山のサル被害防止事業では、発信機の装着個体を増やし、指定地周辺の群数や頭数を明らかにし、管理計画を策定するとともに、外来種であるアカゲザルとの交雑問題についても取り組んでいく。

<p>(4) 公民館等の取り組み ア 中央公民館</p>	<p>教育委員会の自己評価 B</p>
<p>① 主な事業と決算見込額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央公民館管理運営事業 (13, 108, 151円)</li> <li>・市民文化祭事業 (759, 090円)</li> <li>・中央公民館学級・講座関係活動事業 (657, 498円) 等</li> </ul>	
<p>② 27年度の取り組みの概要と効果 (成果・課題等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民文化祭事業 <p>富津市民文化祭実行委員会の企画・運営により市民自ら積極的に運営し、生涯学習活動の成果を発表し、親睦と融和を図り、豊かな文化の向上と創造の心を養う文化祭となるよう努めた。</p> <p>10月30日から11月3日まで総合社会体育館・富津公民館・中央公民館・市民会館の4会場で実施し、2, 104人 (前年度比+63人) の出展者で3, 114点 (前年度比-44点) の作品、出演者1, 486人 (前年度比-53人)、参観者延人数は、17, 469人 (前年度比+2,914人) であった。本年度も、事業の実施に多くの市民や関係者の協力のもと、日頃の生涯学習活動成果の貴重な発表と鑑賞の場所となったが、高齢化が進み参加者が限られる傾向もある。</p> </li> <li>・学級・講座事業 <p>対象別 (青少年・婦人・成人・高齢者等) や課題別 (歴史文化・工芸・健康等) の14 (前年度比-4) の学級・講座を開設した。本年度は「ピッコロ学級」「スマートフォン教室」など5の学級・講座を廃止、新規として「キルト教室」を実施し、市民に幅広く学ぶ機会を提供することにより、人づくりや地域づくりを推進した。</p> <p>学級・講座全体の開催回数は、135回 (前年度比-19回)、参加延人数は1, 870人 (前年度比-194人) であった。</p> </li> <li>・施設整備 <p>正面玄関入口ドア及び消防設備 (避難誘導灯・非常放送設備) 等の修繕を実施し管理運営に支障をきたすことのないように努めた。</p> </li> </ul>	
<p>③ 今後の取り組みの方向性 (改善策等)</p> <p>市民文化祭事業は、実行委員会で文化祭実施後に毎年行う反省会の内容を次年度に生かして、より充実した市民文化祭となるよう取り組んでいく。</p> <p>学級・講座事業は、市民の生活課題や地域社会の共通課題を把握するとともに、多様化している市民のニーズに対応した学級・講座を開設し、学校や地域の各種団体等と連携し、誰もが参加しやすい環境づくりを図る。</p> <p>中央公民館は、築後42年が経過し、老朽化に伴い改修の必要な箇所が増加してきている状況である。財政状況を踏まえつつ計画的な施設整備に努めたい。</p>	

## 学級・講座開催状況

平成28年3月31日現在

No.	講座の名称	開催回数	参加延人員	講座の主旨と内容
1	シルバー生きがい学級	9	201	高齢者がいきいきと生活できるように、健康についての講義、軽スポーツ・レクリエーションや実習、社会見学等を交えながら学習していく。
2	さわやか女性セミナー	9	228	暮らしに役立つ課題や社会情勢などについて、見学、講義、実践を行いながら学習する。
3	折り紙教室	9	64	伝承折り紙から創作折り紙まで、アートとしても楽しめる折り紙の作品づくりを学ぶ。
4	はつらつウォーキング教室	9	145	ウォーキングのコツ、注意点及び効果などを学び、正しく美しく快適に歩くことにより、心身の健康増進をはかる。
5	読み聞かせボランティア入門講座	5	25	読み聞かせボランティアの未経験者を対象に本の読み聞かせの技術について実践を交えながら学習していく。
6	外国人のための日本語講座	22	152	在日外国人が日本で生活するうえで言葉の壁を少しでも減らし、地域のひととのコミュニケーションがとれるようにする。
7	こどもチャレンジ教室	4	98	創作や体験を通じて自発性、活動性、創造性を育てる。
8	いきいき健康体操教室	9	201	自分の体の状態と弱点を知り、身の周りにある器具を使って、弱点を克服する体操を学んだり、グラウンドゴルフ・レクゲームを行ったりして心身の健康増進を図る。
9	こども折り紙教室	4	52	親から子へ、子から孫へと受け継がれてきた日本の伝統工芸折り紙を楽しむ。
10	男の悠遊教室	9	121	男性を対象に日常的に習慣化出来る体操の習得、料理・園芸などの体験、健康等をテーマにした講演を取り入れ、心身の健康増進を図る。
11	プリザーブドフラワー教室	9	166	生花に特殊加工を施し、生花の風合い、みずみずしさ、ソフトな感触を長時間保つ事が出来る花であるプリザーブドフラワーは人気が高まっており、初心者の方でも気軽に楽しみながらさまざまなアレンジメントを学ぶ。
12	キッズダンス教室	16	133	リズムに乗って体を動かし、ダンスの基礎、表現する楽しさを学ぶ。また、ダンスを通じての仲間作りと異年齢の交流を図る。
13	七宝焼教室	12	145	七宝焼の装飾品づくりを学び、自分だけのアクセサリ作品を創る楽しさと出来上がりの達成感を感じてもらう。
14	キルト教室	9	139	生活の中で不要となった布を「より華やかに、品良く、用・即・美」をコンセプトに創作して、リサイクルの推進を図る。
	合計	135	1,870	

イ 富津公民館・埋立記念館	教育委員会の自己評価	B
<p>① 主な事業と決算見込額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 富津公民館管理運営事業 (16,747,938円)</li> <li>・ 成人式事業 (667,272円)</li> <li>・ 富津公民館学級・講座関係活動事業 (433,180円)</li> <li>・ 埋立記念館管理運営費 (2,132,840円) 等</li> </ul>		
<p>② 27年度の取り組みの概要と効果(成果・課題等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 成人式事業 <p>新成人を祝って、平成28年1月10日に開催し、新成人の意見発表等を行った。中学3年生時に本人が書いた「二十歳への手紙」を式典の中で披露し、後日、当日の集合写真と共に郵送した。式典不参加者にも手紙は郵送している。</p> <p>今年の新成人該当者は452人で、内349人が式典に出席し、出席率はこれまでとほぼ同程度の77.2%であった。</p> </li> <li>・ 学級・講座事業 <p>対象別(婦人・成人・高齢者等)や、課題別(教養・歴史文化・工芸・園芸・健康等)の11学級・講座(前年度比-2)を開設した。今年度は、新たに「古文書を読む会」を行い、全開催回数は94回(前年度比-12)、学級・講座全体の参加延べ人数は1,765人(前年度比-388人)であった。</p> </li> <li>・ 施設整備 <p>4カ所の和式トイレを洋式へ改修し、利用者の利便性を図った。</p> </li> </ul>		
<p>③ 今後の取り組みの方向性(改善策等)</p> <p>成人式の記念品として、式典会場での全体集合写真を贈呈し好評を得ていることから、今後も可能な限り継続する。式典の内容等については、毎回、公民館運営審議会等で意見を伺いながら工夫に努めているが、今後も適宜検討を加えていく。</p> <p>富津公民館は、築後31年が経過し、老朽化による設備故障等の発生頻度が年々高まる傾向にあるが、館の運営や事業に支障をきたすことのないよう、日常的な施設の保守管理と、財政状況を踏まえた計画的な施設整備に努めたい。</p> <p>埋立記念館は、平成27年度から、入館料の無料化と平日の無人化を実施することとなったが、今後も入館者数の増加に向け、広報等に努める。</p> <p>学級・講座事業については、今後も事業内容や学習手法等を十分検討し、利用者や各種団体等と連携して、誰もがより参加しやすい環境づくりを進め、市民の学習意欲の向上と地域文化の発展に努める。</p>		

学級・講座開催状況

平成28年3月31日現在

	講座の名称	開催回数	参加延人員	講座の主旨と内容
1	高齢者教室	8	233	年齢を重ねても健康で充実した生活を送るため、幅広い知識や教養、健康増進法などについて学ぶ。
2	園芸教室	10	232	花や樹木の手入れ、管理方法から、草花の種からの育て方、鉢の寄せ植え、樹木の移植、用土作り、害虫の駆除などの園芸技術を学習する。
3	男の料理教室	8	175	手軽に作れる日常の惣菜など、初歩的な調理技術と酒の肴など、男性ならではの実践的料理づくりを学ぶ。
4	東京湾学講座	12	437	富津岬を中心に東京湾岸の歴史や文化、自然などについて、幅広い知識を学び、また、探査会を実施し学習していく。
5	健康スクール教室	8	130	自分でできる運動を中心に、日常的に体を動かす楽しさを学ぶ。
6	わらべ歌遊びと共育ち教室	8	105	子育ての中に、わらべ歌遊びを豊かに取り入れ、親子のふれあいを深める。
7	韓国語教室	16	116	日本の隣国である韓国の言語と日常会話を学び、韓国の伝統文化についても、併せて学習する。
8	大人チャレンジ教室	1	19	日常生活の中では、なかなか体験できない伝統文化・技術などにチャレンジする。
9	エコパッチワーク教室	8	98	エコ、リメイクの意識を高めるため、古着の布と新しい布を組み合わせて使用し、パッチワークを学ぶ。
10	陶芸教室	7	89	お皿や小鉢など、世界にひとつだけの「わたしの器」作りを楽しむ。
11	古文書を読む会	8	131	市内に伝わる古文書から、歴史について学ぶ。
	合計	94	1,765	

ウ 市民会館・峰上地区公民館	教育委員会の自己評価 B
<p>① 主な事業と決算見込額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民会館管理運営事業 (26,057,934円)</li> <li>・市民会館学級・講座関係活動事業 (492,665円)</li> <li>・峰上地区公民館管理運営事業 (1,186,973円) 等</li> </ul>	
<p>② 27年度の取り組みの概要と効果 (成果・課題等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化事業 <p>隔年実施の富津市民文化事業「ふつつ学びの門」については、1月31日に富津公民館において、劇団わらび座による舞楽詩「風の又三郎」を上演した。販売席数は、876席中735席であった。来場者アンケートでは、98%の来場者が「とてもよかった」・「よかった」と回答しており、来場した方が感動し満足した公演であった。</p> </li> <li>・学級・講座事業 <p>対象別 (青少年・成人・高齢者等) や課題別 (教養・歴史文化・茶道・手芸・健康教室等) に19の主催学級・講座 (前年度比増減無し) を開設し、市民に幅広く学ぶ機会を提供し、講座を通じての人づくりや地域づくりに寄与した。参加回数と参加延べ人数は講師の都合や天候等の要因によって前年度と比較して減となっている。</p> <p>開催回数125回 (前年140回)、参加延べ人数2,019人 (前年度2,130人)。</p> <p>新たな取り組みとして、ホールの活用を図ることを目的として、名画座を開催した。戦後70周年ということで、アニメ「火垂るの墓」を上映した。また、同時にお話会を開催したところ、読み聞かせに関心のある大人が参加し、これまで市民会館にはなかった読み聞かせサークルの誕生へとつながった。</p> </li> <li>・施設整備 <p>市民会館では、消火栓設備や換気扇・合併浄化槽の補修を実施した。また、峰上地区公民館では、女子トイレの修繕を行い管理運営に支障をきたすことのないように努めた。</p> </li> </ul>	
<p>③ 今後の取り組みの方向性 (改善策等)</p> <p>主催事業である学級・講座が、常にフレッシュな内容であるよう努め、近隣の小学校・中学校・高等学校や地域との交流を深める等、新しい年代層や利用者の増加に努める。</p> <p>また、自立が見込める教室・講座は、サークルとして活動を広げていけるよう促すとともに、地域の人材を活用した新たな教室・講座の開設に努め、人づくりや地域作りの拠点として事業を展開していきたい。</p> <p>取り組みと概要に記載したように、学級・講座以外の名画座やお話会を定期的で開催し、これまで市民会館に足を運んでいなかった市民にも興味・感心を持ってもらえるとともに参加してもらえるような取り組みを進めていきたい。</p> <p>市民会館は、築後27年が経過し、老朽化が進んでいる。市民が快適かつ安全、安心、便利に利用できるよう、財政状況を踏まえつつ、計画的な施設整備に努めたい。</p> <p>峰上地区公民館については、築後52年経過している上、木造であるため施設整備等に対する保守点検を徹底し、安全性の確保及び管理運営に支障をきたすことのないよう努めたい。</p>	

No.	講座の名称	開催回数	参加延人員	講座の主旨と内容
1	歴史探訪講座	13	304	地域の歴史を文化・自然・人物・史跡などから再発見、学習する。
2	韓国生活文化教室	6	52	簡単な日常会話や料理・衣服など韓国の生活文化について料理等の実践を通して学ぶ。
3	こどもダンス教室	13	181	リズム感を養いながら音楽に合わせて体を動かし、ヒップホップダンスの基礎を学ぶ。
4	煎茶道講座	9	99	玉露、煎茶、紅茶、番茶の点前を通し、作法・所作を学ぶ。
5	折り紙教室	6	50	指先を使うことにより脳の活性化を図ると共に、多様な和紙を用いて折り紙芸術作品づくりを進める。
6	スローライフ楽塾	9	180	団塊世代を含めた新たなライフスタイルを探求したい人を対象に、インドア、アウトドアを問わず様々な体験を通して学ぶ。
7	健康増進教室	2	78	ハイキングやウォーキングにより、地域探訪をしながら心と体のリフレッシュを図る。
8	エコ・スクール	10	216	自然環境・動植物の環境から、ゴミ・リサイクル等の学習や現地視察を行い、幅広く学ぶ。
9	こどもチャレンジ教室	5	85	家庭とは異なる環境で、親子での共同作業や体験を行い、自主性、創造性、社会性を育む。
10	シルバー生きがい学級	8	238	高齢化が進む中、レクリエーションや学習をとおし参加者がふれあえる場を作り、仲間づくりをする。
11	初めての紙バンド手芸教室	7	41	古紙から再生された環境にやさしい紙バンド（エコクラフトテープ）を使い幅広く作品作りを学ぶ。
12	マネーライフ講座	4	20	難解な経済、金融の仕組みや用語の解説を受けながら、お金の流れや生活設計の仕方など新時代のマネーライフについて学ぶ。
13	和菓子教室	9	183	日本古来から伝わる和菓子作りを基礎から学ぶ。
14	季節の草木染め講座	5	65	四季の中で育った草木を使い、染め物の染料とすることを考えた先人の知恵「草木染め」を学ぶ。
15	初心者向けの3B体操	7	70	初心者を対象に健康で過ごすために、体を鍛えて病気にかかりにくくすることを学ぶ。
16	よくわかるスマートフォンの使い方講	2	31	スマートフォンを気軽に利用できるようにし、生活における利便性を拡大する。（シニア向け）
17	旬の料理教室（新規）	5	52	旬の食材を使い、主菜・副菜・デザートなどの料理を学ぶ。
18	コーヒー講座	2	24	体に良いコーヒーの入れ方や、お菓子に合うコーヒーの選び方等、日常に使えるコーヒーの講座。
19	小筆教室（新規）	2	31	住所や名前など、生活に役立つ自分が習いたい文字を習う。
20	名画座（新規）	1	19	ホールにて視聴覚教材を用いた映写会を開催し、市民が手軽に名画を鑑賞するとともにホールの活用を図る。
	合計	125	2,019	

## 外部評価者（Ⅰ）の評価

B

## 意見

・点検評価制度の設計に際し目標管理の手法を導入してあり、有効な手段であるとは思いますが。しかし、人口減少社会に加え十分な予算の確保が困難な状況の下で参加者や利用者を増加させるには大変な困難が伴います。この前提で評価すると各施策は、一定の成果をあげていると言えます。今後も利用者ニーズを把握し、また推理し、新鮮さが感じられる施策展開がされるよう期待しています。

・「内裏塚古墳群全体としての整備方針を検討」とありますが、毎年同じ記述です。計画とは「現状を分析し、市民の意向も把握したうえで今後の方向性を示し、一定の期間における事業費を伴う整備」を記載するのが一般的です。しかし、まず、ビジョンを示す、理念・構想を掲げることが第一歩です。構想は予算を伴う必要はありません。理念の延長に整備計画を据えるというステップで臨めば、ハードルは高くないと考えますが。

## 外部評価者（Ⅱ）の評価

B

## 意見

・事業の見直し、削減の中で成果（効果）を上げることの難しさを推察します。前年度の踏襲も厳しい状況の中、市民が今以上に生涯学習に対する理解を深め「文化の香るまち」づくりに向け、更なる創意工夫を期待する。

・文化財の質・量とも他市に誇れる部分であるが、活用といった面で後れを取っているのが残念である。国が推進する「文化財の活用」を目指し、更に一般に広くアピールするためにも専門職員の増員が必要と思われる。

・利用者数、参加者数の増加は大事であるが、更なる「質（市民満足度）」の向上を期待する。限られた予算だからこそ、「富津ならでは」「富津でなければできないもの」を創り上げていく時だと思う。また、市民のニーズに応じ、誰もがより参加しやすい環境づくりも必要と思われる。



### 3. スポーツ・レクリエーションの振興

『富津市第3次基本計画』・『富津市生涯学習推進計画』の施策目標と到達点

指 標 名	平成21年度	平成27年度 (目標値)	平成27年度 (到達点)
市民等アンケート「スポーツ・レクリエーションの振興」の満足度	37.2%	40.0%	—
スポーツ関連の行事参加者数	16,000人	17,700人	15,603人
総合型地域スポーツクラブの数	1か所 〈平成22年度〉	2か所	1か所

ふれあいスポーツフェスタ 2015



<p>(5) 生涯学習課の取り組み スポーツ振興係</p>	<p>教育委員会の自己評価 B</p>
<p>① 主な事業と決算見込額</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会体育振興事業 (4,775,265 円)</li> <li>・ふれあいスポーツフェスタ事業 (483,566 円)</li> <li>・市体育施設管理運営事業 (29,865,199 円)</li> <li>・スポーツレクリエーション推進事業 (298,706 円) 等</li> </ul>	
<p>② 27年度の取り組みの概要と効果(成果・課題等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会体育振興事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>市民がスポーツに親しみ、健康づくり・体力づくりをする中で、豊かな生活が営まれるように各種スポーツイベント等を実施。また、スポーツ推進委員及びスポーツ・レクリエーション推進員と連携して、誰でも気軽に参加できるニュースポーツの普及に努めた。</li> <li>富津市長杯争奪少年野球大会 105 人 (前年度比：-35 人)</li> <li>富津市教育長杯争奪少年サッカー大会 140 人 (-20 人)</li> <li>第33回F T S少年剣道大会 359 人 (+20 人)</li> <li>「県民の日」記念第32回グラウンドゴルフ大会 93 人 (-20 人)</li> <li>「県民の日」記念第32回バドミントン大会 250 人 (-22 人)</li> <li>第22回F T S杯争奪少年柔道大会 162 人 (-7 人)</li> <li>第33回F T S杯争奪少年野球大会 140 人 (±0 人)</li> <li>第21回健康ウォークラリー大会 37 人 (-48 人)</li> <li>君津地区スポーツレクリエーション祭歩け歩け大会 雨天中止</li> <li>第34回F T S杯争奪インドアカ大会 26 人 (±0 人)</li> <li>第24回F T S杯争奪ソフトバレーボール大会 37 人 (±0 人)</li> <li>第21回F T S杯争奪グラウンドゴルフ大会 61 人 (-11 人)</li> <li>君津地区スポーツレクリエーション祭(インドアカ・ソフトバレー・グラウンドゴルフ) 80 人 (-10 人)</li> <li>富津市教育長杯争奪少年野球新人大会 140 人 (±0 人)</li> <li>第4回ふれあいドッジビー大会 70 人 (-33 人)</li> <li>第40回ママさんバレーボール大会 103 人 (-30 人)</li> <li>第33回市民ハイキング 106 人 (-25 人)</li> <li>第45回元旦歩こう大会 324 人 (+25 人)</li> <li>第45回新春バドミントン大会 243 人 (+199 人 H26は小学生、H27は小中学生実施)</li> <li>第28回新春グラウンドゴルフ大会 105 人 (+2 人)</li> <li>スポーツ教室(毎週土曜日) 4,094 人 (-824 人)</li> <li>第6回富津市バスケットボールフェスタ 860 人 (-85 人)</li> <li>ニュースポーツ教室 30 人 (+2 人)</li> </ul> </li> <li>・ふれあいスポーツフェスタ事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>市民の手づくりによる健康づくり、体力づくりを目的に多くの市民がスポーツに親しめるよう、今年度は、会場を陸上競技場のみとし、グラウンドゴルフ、ゲートボールに替わるウォーキング教室やロコモ対策・ストレッチを実施。また、健康づくり課等も参加し骨</li> </ul> </li> </ul>	

密度・体脂肪測定も行うなど、より健康を意識した大会を開催。2,780人(+2,780人)  
H26は中止

・市体育施設管理運営事業

公益財団法人富津市施設利用振興公社を指定管理者として管理運営を実施し、市民サービスの向上を図った。

総合社会体育館 主体育館 725件 59,253人(+194件 +8,395人)

小体育館 865件 9,736人(+130件 +737人)

会議室等 29件 535人(-22件 -1人)

富津運動広場 66件 1,151人(-22件 -511人)

新富運動広場 115件 16,693人(+3件 +3,145人)

浅間山運動公園 テニス等 891件 5,080人(+109件 +840人)

野球 84件 3,373人(-11件 -358人)

・小中学校体育施設開放事業

74団体 7,661日 154,796人(延数)(-1団体 +1,700日 +28,191人)

・第38回千葉県民マラソン大会

市民等の心身の健全な発達とスポーツ振興、富津市の名産品などの紹介や販売を行うことによる観光振興に寄与することを目的として、千葉日報社と協力して千葉県民マラソン大会を実施。地元住民による沿道応援や市内からのボランティア参加。また、会場での各種イベントなども合わせて行うことで大会の活性化が図られた。

エントリー5,258人(-492人) 完走数4,248人(-270人)

③ 今後の取り組みの方向性(改善策等)

・社会体育振興事業

スポーツ推進委員やスポーツ・レクリエーション推進員と連携を図り、各種スポーツイベント等の参加者の増加を図れるよう検討する。

・ふれあいスポーツフェスタ事業

実行委員会を早期に開催し、関係団体との協議、準備を進め内容の検討を図っていく。

・市体育施設管理運営事業

施設の老朽化に伴い各施設ともに大規模な改修等が必要となっていることから、計画的に補修を進めていく必要がある。

・千葉県民マラソン大会

大会終了後に行われている運営委員会での反省点、参加者からの意見を活かし、当初の目標であるスポーツ振興・観光振興をより充実させた大会を目指し準備・開催をする。

外部評価者（Ⅰ）の評価 B

意見

・「スポーツ・レクリエーションの振興」に関する課題については、今後の取り組みの方向性にも記載されているとおり、担当は正確に把握しているようです。十分な予算と人員の確保が困難な状況に、忸怩たる思いを抱いているものと推察します。

市全体の施策の選択の結果であり、他の部局も同様の状況といえます。所管する職務の重要性を噛みしめ、プロである誇りと高い志を持ち対応していかれることを期待しています。

外部評価者（Ⅱ）の評価 B

意見

・経費並びに職員の削減等厳しい状況の中での事業振興に敬意を表する。しかし、参加者の「安心・安全」を第一に考え、各施設の修理、改修を早急を実施する必要がある。

・スポーツ・レクリエーションに親しむ人が限られている気がする。新たな年齢層の開拓、誰もが参加しやすい環境づくりを目指し、今以上に関係者・各種団体との協力連携を図ることを期待する。

・スポーツ・レクリエーション振興の更なる啓蒙が必要と考える。そのために教育委員会だからこそ主催できる事業、また教育委員会としての後援の在り方等々の見直しが必要と思われる。